

公認スポーツクライミングコーチ1
資格概要

2019年4月1日現在

主催		公益財団法人日本スポーツ協会 公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会	
養成目的		都道府県レベルにおいて、年齢・技術レベルに応じてクライミング教室や、学校登山部活動等で基礎的な実技指導にあたる指導者を養成する。	
役割		都道府県レベルにおいて、スポーツクライミング・ボルダリングの技術の普及および初心者の指導に努める。国民体育大会の選手指導および監督となる。	
養成講習会に係る内容	受講条件	受講年度の4月1日現在満20歳以上で都道府県山岳連盟(協会)が認めるもので下記条件の全てを満たす者。 (1)5. 10以上をリードクライミングできると判断された者。 (2)人工壁に於いて、初心者の指導実績を有し、指導できると判断された者。	
	受講科目	共通科目	共通科目 I (45h)
		専門科目	スポーツクライミングコーチ1専門科目(30h) ※別紙カリキュラム表参照
	受講料	共通科目	共通科目 I : 19800円(税込)※別途リファレンスブック代: 1500円(税抜)
		専門科目	競技団体によって別途定める
		スタートコーチ	円()
	実施方法	共通科目	別に定める共通科目実施要領に基づき日本スポーツ協会が実施する
		専門科目	<p>■講習会 カリキュラム(30時間)に基づき、都道府県山岳連盟(協会)を主管として集合講習会と通信講習(レポート)により開催する。実際の実施計画については都道府県連盟(協会)と都道府県体育協会で相談の上、JSPOとJMSCAの承認を得て実施する。</p> <p>■検定試験 JMSCA指導委員会が作成したものを参考に各都道府県の実情に合わせて作成・出題し、筆記試験、レポート評価、技能検定の総合判定とする。</p> <p>■審査 合格者の判定は筆記試験、レポート評価、技能検定の総合判定結果を基に、JMSCA指導委員会で審査の上、原則として満点の6割以上を合格とする。</p> <p>■免除要件</p>
	登録に係る内容	登録料(4年間)	基本登録料: 10,000円
			資格別登録料: 円
初期登録手数料(初回登録時のみ): 3,000円			
更新登録要件	資格登録有効期限の6か月までに、最低1回は、JMSCAが定める研修会またはJSPO(都道府県体育協会が実施する(認める)研修を含む)が実施する研修を受けなければならない。		
特記事項			

公認スポーツクライミング1

2019年4月1日現在

区分	カリキュラム内容		時間数		
	No.	科目	集合	その他	計
① 基礎理論	①	クライミングの基礎、指導者制度	2.00h	0.00h	2.00h
	②	クライミング(人工壁)の技術・安全・用具	4.00h	0.00h	4.00h
	③	医学 (ストレッチ・スポーツ外傷・ドーピング防止)	3.00h	0.00h	3.00h
	④	法律 (指導者の法的責任)	1.00h	0.00h	1.00h
	⑤	セッティング・グレード	1.00h	0.00h	1.00h
	⑥	競技	2.00h	0.00h	2.00h
			小 計	13.00h	0.00h
② 実技・指導実習	①	用具	2.00h	6.00h	8.00h
	②	クライミング	8.00h	1.00h	9.00h
	③	確保	3.00h	0.00h	3.00h
	④	セッティング	2.00h	0.00h	2.00h
	⑤	競技	2.00h	3.00h	5.00h
			小 計	17.00h	10.00h
			30.00h	10.00h	40.00h